

## 外構工事体験講座 実施報告

3月26日、27日、高校生がウィリアムズ館前の飛び石の園路を株式会社熊谷組と熊栄協力会青年企画部会の方々の指導を仰ぎながらコンクリート打設、レンガ敷き工事を体験しました。

26日、生徒が生コン車から一輪車でコンクリートを運ぶ作業や園路に流したコンクリートを均す作業を行いました。また、単にコンクリートを均すのではなくバイブレーターを使ってコンクリート内の空気抜いて品質の良いコンクリートにする作業も体験しました。鍬を使ってコンクリートを均す作業は一見簡単に見えましたが、実際にやってみるとかなり難しく何度もやり直している姿が印象的でした。

(Before)



(After)

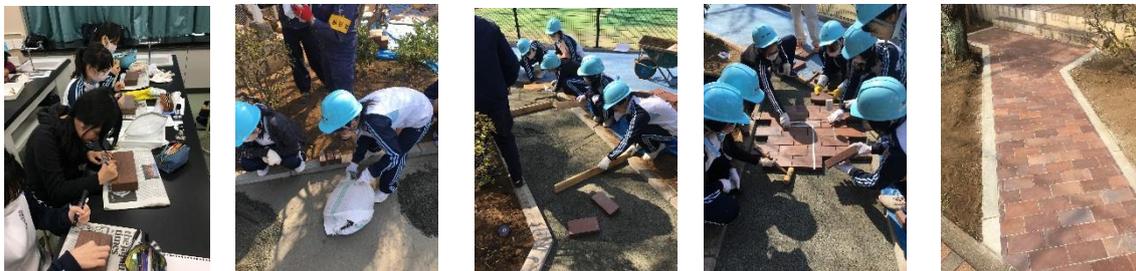


1回目と2回目のコンクリート打設の待ち時間に、熊谷組黒嶋氏から総合建設業界の魅力やご自身の仕事のキャリアについてお話を伺いました。その他に本校理科教員がセメントやコンクリートの製法や性質について授業も実施しました。実体験に基づいた授業は理解が早いと感じました。



27日、固まったコンクリートの園路に15mmの厚さで砂を撒き均す作業とレンガを敷設する作業を行いました。砂を15mmに均一に敷く作業は非常に難しく、斑に気が付かないとレンガを置いた際、園路に凹凸ができ、結果的に歩行者が躓いてしまいます。また、砂の上に置くレンガも一つひとつの色や大きさが微妙に違って、砂を均してレンガを置くだけという単純な作業のようで、とても緻密さが求められる仕事でした。生徒はプレッシャーを感じながら恐る恐る作業をしていましたが、徐々に慣れてくると自分たちで定規を当

ててレンガの置く位置を決めたり、鍬で砂を均したり、レンガを木ハンマーで叩いて列を整えたりと、互いに声を掛け合いながら敷設していました。



敷設したレンガの裏面には自分たちのメッセージや願い事を書きました。生徒たちにとって良い思い出ができたと思います。

今回ウィリアムズ館前の園路は、主に卒業生が利用するもので、参加した生徒は利用される先輩のことを思いながらプログラムに取り組むことができました。卒業生の方から園路の感想を伺う日を楽しみにしています。

事後アンケートから、建設業は直接的に誰かの役にたてる魅力的な職業であること、モノ作りの面白さや魅力に気が付いたこと、職人の技術のすごさなどとても多くの学びがあり、とても満足した様子がわかりました。

ご協力頂きました株式会社熊谷組、熊栄協力会青年企画部会の関係者の皆様にこの場を借りて深く御礼申し上げます。尚、プログラムは、「若年者と建設業界の架け橋 つなぐ化事業（厚生労働省職業安定局委託事業）」の一環として本校で実施されました。

文責 清水亨祐（理科）